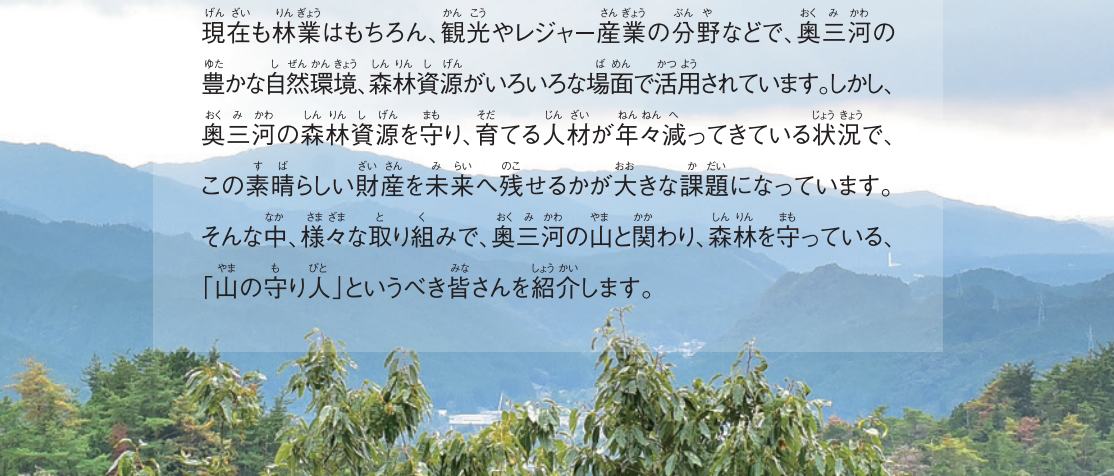




山の守り人

おく み かわ と ち ち かく しん りん おお やま やま か こ し ぜん
 奥三河は、土地の90%近くが森林に覆われ、山々に囲まれた自然
 ゆた ち い ぞう めく しん りん し げん かつ よう むかし りん ぎょう
 豊かな地域です。この恵まれた森林資源を活用して、昔から林業が
 さか げん で、そのために街道や鉄道が整備され、奥三河の発展に大きく
 貢 献 して きました。また、奥三河で育まれた伝統文化や食文化も、この
 ゆた し ぜん う おん けい き ほな かんが
 豊かな自然から受ける恩恵と切り離して考えることはできません。
 げん ざい りん ぎょう かん こう さん ぎょう ぶん や おく み かわ
 現在も林業はもちろん、観光やレジャー産業の分野などで、奥三河の
 ゆた し ぜん かん ぎょう しん りん し げん かつ よう
 豊かな自然環境、森林資源がいろいろな場面で活用されています。しかし、
 おく み かわ しん りん し げん まも そだ じん ざい ねん ねん へ じょう きょう
 奥三河の森林資源を守り、育てる人材が年々減ってきている状況で、
 この素晴らしい財産を未来へ残せるかが大きな課題になっています。
 なか さま さま とく おく み かわ やま がか しん りん まも
 そんな中、様々な取り組みで、奥三河の山と関わり、森林を守っている、
 「山の守り人」というべき皆さんを紹介いたします。



にん き
3人の「木こり」が
 おく み かわ
奥三河の
 しん りん まも
森林を守ります！
 たん き き う
 単に木を切って売るこ
 とが木こりの仕事では
 さ し ごと
 ありません。自然環境
 し ぜん かん ぎょう
 全体を考えて、豊かな
 ぜん たい かんが ゆた
 しん りん し げん の こ
 森林資源を残すことが
 わたし し めい
 私たちの使命です。



ごう どう がい しゃ しん しろ
合同会社 新城キッコリーズ
 新城市井代字大貝津37 TEL:090-9928-4070



何日も雨が降らなくても なぜ川の水は無くならないの？

しん しろ たいひょう た じつ けん いち しん りん
 新城キッコリーズ代表の田實健一さんは、「森林を
 まも みず まも だん げん しん りん
 守ることは水を守ること」だと断言します。森林の
 つち き ね しょう どうぶつ び せいぶつ つく むすう
 土には、木の根や小動物、微生物たちが作った無数
 すき ま あま みず じ かん
 の隙間があり、そこに雨水がたまり、時間をかけて
 かわ なが こ みます。だから雨が降らない日が続いて
 も川の水は無くならないし、大雨が降っても大量の
 かわ みず な おお あめ ふ たいりょう
 水が川に流れ込むことがないのです。山深い奥三河
 しん りん まも かわ すい げん ふく し ぜん かん ぎょう
 で、森林を守ることは、川や水源を含む、自然環境
 ぜん たい まも
 全体を守ることにつながるのです。



た じつ けん いち
田實 健一さん

100年先の未来へ、森林を残す仕事

さい きん し ぜん かん ぎょう かん しん も りん ぎょう
 最近、自然環境に関心を持って林業
 こころざ ひと ふ りん ぎょう かん けい
 を志す人が増えてきましたが、林業関係
 者全体としてもっとかん ぎょう たいが
 なければならぬと思います。地域の学
 こう で まえ じゆ ぎょう とお しん りん
 校への出前授業などを通して、森林の

かん ぎょう けい せつ よく いく せつ よく きて おこな わたし く
 環境教育を積極的に、私たちが暮
 らしと山や森林が密接につながっている
 ことを伝えていきたいですね。子どもたち
 の未来に、豊かな森林を残すことが、これ
 からの「木こり」の仕事だと考えています。



毎月約2,000本の丸太を加工しているよ



仕事の8割が番木の製造



有限会社 粟代製材所

北設楽郡東栄町大字振草字古戸土橋8
TEL:0536-78-5015



田口高校が所有する山のなかで、実際の林業の仕事を経験する授業も行う

演習林での枝打ち実習



愛知県立 田口高等学校 林業科

北設楽郡設楽町清崎字林ノ後5-2 TEL:0536-62-0575



製材所って何？

業者から丸太を購入し、木材に加工して販売する製材業。ここでは資材を置くための番木やパレット、土木建築用の木材を作っています。

アウトドアブームで大ヒット!



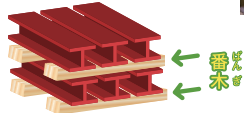
薪の直売所をスタート!

粟代製材所では、工場前でアウトドア用の薪を販売。



番木って何？

コンクリートや鉄などの資材の間に、クッションがわりに挟む木材のこと。番木を挟むことで資材同士が擦れて傷つかず、ズレにくくなるのでフォークリフトで運びやすくなります。



丸太型の薪のスウエーデントーチ



カッコよくデザインした薪割り台



原田 直樹さん

発想一つでイメージを変え、新たな道を創り出す

粟代製材所の原田直樹さんはアイデアマン。製材の技術を活かして、キャンプ用の薪を安価に販売する直売所を始めました。アウトドアブームの中、値段が安いこともあって、県外からも沢山の人が訪れています。しかし、直売所を作った一番の目的は薪を売ることではなく、

製材所の仕事を知ってもらうこと。多くの人製材所の仕事を知らず、話しかけにくい印象を感じているとのこと。そこで、直売所を設け、話しかけてもらいやすくしています。おかげで、いろいろなひとと知り合え、今後はこれをきっかけに仕事獲得につながることを期待しています。

未来の「山の守り人」たちを育てる学校

設楽町にある田口高校は、愛知県で唯一、林業を専門的に学べる「林業科」のある学校です。奥三河は豊富な山林資源に恵まれています。林業を担う人材不足に悩まされています。田口高校では、森林環境に関する基礎知識と技術の学習を通して、将来、林業はもちろん、自然豊かな奥三河で活躍する人材を育てることに取り組んでいます。



特殊な機械の操作も学びます



林業を学ぶことは奥三河の未来を考えること

「体験」を通して山とふれあい林業を学ぶ

林業科では、教室のなかで勉強するだけでなく、実際に山のなかで、昔ながらの技法による枝打ちや、チェーンソーで木を倒すなどの作業を行う実習授業にも力を入れています。「体験」することで、森林や自然にかかわる仕事はどんなものかを、生徒に伝えています。